

市に不足していると思われるサービス

父母の会	・ ショートステイ、ヘルパー事業所の体制、サービス利用の制限などがあり、求めるサービスが受けられない。 ・ 「人材不足」を理由に1年以上ショートステイが利用できていない。
更生会	移動手段がないことがとにかく困る。乗合いバスなどがあるとよい。
聴覚障害者協会	手話通訳者が少ない。いつでもどこでも自由に行動できない。予約がいる、市役所に行ったときに通訳者がいないなど利用したいときにできない。
視覚障がい者福祉協会	サービスを受けるために市役所に行かないといけない。行政サービスの手続きは最寄りのコミセン等またはインターネットで書類の手続きができるようにしてほしい。

障がい福祉サービスや地域生活支援事業に関して感じることについて

父母の会	利用しているグループホームが、週末帰省することになっているが、用事があるのは週末が多いので、何かあったときが心配。
更生会	シニアカーがあれば、便利だと思う。
聴覚障害者協会	・ 聴覚障がいや手話に対する理解が乏しい。偏見、差別が時々見受けられる。市の窓口で筆談を希望したときに、とても嫌そうな顔をされた。 ・ 耳マークや筆記用具などを増やしてほしい。

①障がい者に対する理解・周知・啓発

父母の会	以前は民生委員さんとの交流会があり、そこで、子どもたちの障がいのことや生活の様子を知ってもらうことができていたが、今はどのくらい理解してくれているのかと思う。地域の行事への参加の声かけなどをしてもらえると参加しやすい。地域とのつながりをつくる架け橋になってほしい。
更生会	イベントなど、ボランティアはいない。全て会員がやっている。お金になること、自分がしたいことであれば健常者も参加することもあるが、ボランティアではだれも来ない。

聴覚障害者協会	手話や聴覚障がいに関する勉強会を開いてほしい。市内で聴覚障がい者同士が気楽に集える場所をつくってほしい。
視覚障がい者福祉協会	・孤独な人が多いので、地域で小規模なふれあいまつりのようなものができればよい。障がい者と交流する中で、障がい者への配慮や対応などを学んでほしい。 ・最寄りの2～3学区合同で障がいがある方々が年2回ほど集まって、市議会議員、市職員同席で日頃感じている要望を出し合う会合を開いてほしい。

②相談・情報提供

父母の会	困り事があると、福祉の窓口でも話を聞いてもらえ、必要な箇所へとつないでもらえると嬉しい。
更生会	新規での手帳取得時、障がい者団体があることを啓発してほしい。
聴覚障害者協会	・視覚による情報をもっと取り入れてほしい ・市役所と個人の自宅をつなぐオンライン（通信手段）を設けてほしい。（FAXやメールは時間を要する）
視覚障がい者福祉協会	民生委員さんとのつながりが全くないので、相談できない。

③保健・医療について

父母の会	・リハビリを受けられるところ（場所、時間）が少ない。年齢が上がるのとともに受けられる回数が減る。 ・訪問リハビリが受けられることを知らなかった。
聴覚障害者協会	・健康診断時、手話通訳者を設置してほしい。 ・電話で問い合わせをしなくてもいいようにネットワークを普及してほしい。

④教育・保育について

父母の会	放デイの充実で、下校後の過ごし方は充実してきたが、卒業後の居場所づくりが必要。以前と違って働く親も増えてきている。
聴覚障害者協会	手話を教科に取り入れてほしい。

⑤雇用・就労について

父母の会	・障がいがあっても、仕事ができる人もいるので、定年後などリタイヤした人を雇用するよりも、障がいのある人の働ける場を地域の中につくってほしい。 ・コロナの影響、その他も仕事の内容によって、工賃の金額が不安定。
聴覚障害者協会	聴覚障がい者に対する理解を深めてほしい、働けるところを増やしてほしい。電話や受付など他の方法でできることはいっぱいある。
視覚障がい者福祉協会	・障がいがあるから能力が足りないと世間一般では考えられているので、障がい者に対する賃金が低い。少しの援助があれば障がい者をすべての企業で雇用させるような法律をつくるべき。 ・あんまマッサージの勉強がしたいが、平日しか学べない。時間がかかってもよいので、週末コースのようなものをつくってほしい。

⑥住まい・住宅の確保について

父母の会	・公営住宅が、単身の障がい者も利用できるようにしてほしい。草津市は進んでいる。 ・親なき後も心配なく、安心して暮らせるグループホームなどの住まいが必要。
視覚障がい者福祉協会	県営など公営住宅の古い建物はバリアフリーになっていないので、家賃が安いが入居できない。

⑦生活環境の整備について

更生会	・バスの段差が大きい。段差があっても小さいと何とか上がる。 ・移動手段が無いことが一番困っている。団体の活動についても「迎えに来てくれるのであれば行く」という人も多い。迎えに行くにも事故などにあつたら、と思うと自信がない。
聴覚障害者協会	・バスの運行時間を増やしてほしい。福祉タクシーを普及してほしい。（いつでもどこでも自由に呼べるタクシー） ・町中が暗い。街灯を増やしてほしい。
視覚障がい者福祉協会	鉄道の割引が同行者と一緒でないと割引を受けられないことが不便。

⑧災害時の対策について

父母の会	一時避難所に行けない。障がいによっては大勢の中では難しい。（施設の段差、階段、トイレなど）
------	---

視覚障がい者福祉協会	町内でも障がい者、高齢者を積極的に募って、避難訓練を行わないといけない。健常者だけの訓練は非常時に何一つ役に立たない。
------------	---

計画策定にあたっての意見

聴覚障害者協会	会議などで、耳の聞こえる人は話を聞きながら物を書いたり、資料を読んだりできるが、耳の聞こえない人はどちらか一方になってしまう。（情報確保が遅い）発言が他の人より遅れてしまう。公平に発言できるようにとりはからってほしい。
---------	---